

中標津農業高校のスクール・ミッション

中標津町教育委員会

北海道教育委員会

中標津農業高校の実態

- ① 特色ある農業クラブ活動を展開し、プロジェクト活動における地域課題解決に対する生徒の意欲が高い
- ② 町内の幼稚園や義務教育学校との連携を積極的に行い、地域一体型の教育体制が充実している
- ③ 「地域を教材にして地域を学ぶ」ことをテーマに、地域の多様な資源を活用した教育活動を展開している

中標津農業高校の目指す学校

- ① 自分のよさを知り、進んで学び自己の確立に努める生徒を育成する学校
- ② 家族や友達を大切にし、感謝の心で人に接する生徒を育成する学校
- ③ 社会のきまりや礼儀を守り、責任ある行動をとる生徒を育成する学校
- ④ 奉仕の心を持ち、社会の一員としての役割を果たす生徒を育成する学校
- ⑤ きびしくも豊かな郷土を愛し、伝統や文化を大切にする生徒を育成する学校

「地域や社会の持続可能な発展に貢献できる人材の育成」

学校教育目標

- 1 生涯にわたり、自ら学ぶ意欲と創造力を育てる
- 2 他者や自然とのかかわりの中で豊かな心を育てる
- 3 健やかで調和のとれた心と体を育てる
- 4 農の大切さを知り、土に親しむ心を育てる

【町立学校の合言葉：中標津町教育委員会】
北海道中標津農業高校
○時を守り 場を清め 礼を尽くす
○社会性を養い 良好な人間関係を築く

スクール・ポリシー

○育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）【基本的な出口の方針】

- 1 学びに向き合う力、知識及び技能、思考力・判断力・表現力など3つの柱のバランスのとれた育成に努める
- 2 地域と連携し協働的な学びを通して、持続可能な社会づくりに向けた態度の育成に努める
- 3 主体的、対話的で深い学びを通して、他者を尊重し豊かな心や創造性の育成に努める
- 4 社会に開かれた教育課程で、社会と協働し、望ましい勤労観、職業観の育成に努める

○教育課程編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）【基本的な中身の方針】

- 1 地域や生徒の実態を踏まえた社会に開かれた教育課程の編成を図る
- 2 ICTを利活用した実践力を身に付ける個別最適な学びの充実を図る
- 3 普通教科と専門教科との教科・科目横断的な教育活動の構築を図る

○入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）【基本的な入口の方針】

- 1 基礎基本の確実な定着を図り、自ら学ぶ意欲を育てようとする生徒
- 2 基本的生活習慣の確立を図り、自主性・自律性・多様性を尊重し育成につなげようとする生徒
- 3 自分自身の将来に向けて進路目標を実現しようとする生徒
- 4 地域との交流や農業クラブ・生徒会活動や部活動、特別活動等において主体的に行動し、地域の発展に貢献しようとする生徒
- 5 農業及び農業関連産業に興味関心をもち、地域の産業を担おうとする生徒

社会に開かれた教育課程の
編成

カリキュラム・マネジメントの
実施

授業改善のための
組織的な体制整備

【スクール・ミッション策定の理由】

町立高校として農業の専門的な指導を生かし、地域資源を積極的に活用することで、中標津町や地域社会の未来に対し、農業の立場から持続可能な発展に貢献できる人材を育成することが求められているため